

平成 30 年度

博士課程後期課程
入学試験専門科目
標準的参考文献

神戸大学大学院
経営学研究科

第 1 群

経営管理

- (1) Barnard, C. I. (1938) *The Functions of the Executive*, Harvard University Press. (山本安次郎・田村競・飯野春樹訳『新訳 経営者の役割』ダイヤモンド社、1968年。)
- (2) Weber, M. (1920) “Die protestantische Ethik und der Geist des Kapitalismus,” *Gesammelte Aufsätze zur Religionssoziologie I*, J.C.B. Mohr. (中山元訳『プロテスタントイズムの倫理と資本主義の精神』日経BP社、2010年。)
- (3) 大塚久雄編著 (1965) 『マックス・ヴェーバー研究 生誕百年記念シンポジウム』東京大学出版会、9-38頁および303-332頁。
- (4) Berger, P. L., Berger, B. and Kellner, H. (1973) *The Homeless Mind: Modernization & Consciousness*, Random House (高山真知子・馬場伸也・馬場恭子訳『故郷喪失者たち—近代化と日常意識』新曜社、1977年、46-69頁。)
- (5) Taylor, F. W. (1911) *Principles of Scientific Management*, Harper & Brothers. (有賀裕子訳『新訳 科学的管理法：マネジメントの原点』ダイヤモンド社、2009年。)
- (6) Mayo, E. (1945) *The Social Problems of an Industrial Civilization*, Andover Press. (藤田敬三・名和統一訳『アメリカ文明と労働』有斐閣、1951年。)
- (7) Likert, R. (1961) *The New Pattern of Management*, McGraw-Hill. (三隅二不二訳『経営の行動科学：新しいマネジメントの探求』ダイヤモンド社、1964年。)
- (8) Likert, R. (1967) *The Human Organization: Its Management and Value*, McGraw-Hill. (三隅二不二訳『組織の行動科学：ヒューマン・オーガニゼーションの管理と価値』ダイヤモンド社、1968年。)
- (9) 経営学史学会監修・吉原正彦編著(2013) 『経営学史学会叢書Ⅲメイヨー＝レスリスバーガー：人間関係論』文眞堂。
- (10) Peters, T. J. and Waterman, R. H. (1982) *In Search of Excellence: Lessons from America's Best-run Companies*, Harper & Row. (大前研一訳『エクセレント・カンパニー：超優良企業の条件』講談社、1983年。)
- (11) Schein, E. H. (1999) *The Corporate Culture Survival Guide: Sense and Nonsense about Culture Change*, Jossey-Bass. (金井壽宏監訳、尾川丈一・片山佳代子訳『企業文化：生き残りの指針』白桃書房、2004年。)
- (12) 坂下昭宣(1985) 『組織行動研究』白桃書房、1-91頁。
- (13) Herzberg (1969) “Once more time: How do you motivate employees?” *Harvard Business Review*, 46, 53-62. (北野利信訳『再び問う：どうすれば従業員を動機づけられるのか』『ダイヤモンドハーバードビジネスレビュー』1977, February- March, 82-89頁。)
- (14) Kotter, J.P. (1999) *John P. Kotter on What Leaders Really Do*, Harvard Business School Press. (DIAMONDハーバード・ビジネスレビュー編集部・黒田由貴子・有賀裕子訳『リーダーシップ論-人と組織を動かす能力-第2版』ダイヤモンド社、2012年、41-102頁。)
- (15) Mintzberg, H. (1973) *The Nature of Managerial Work*, Harper Collins. (奥村哲史・須貝栄訳『マネジャーの仕事』白桃書房、1993年、49-90頁。)
- (16) 桑田耕太郎・松嶋登・高橋勅徳(編)(2015) 『制度的企業家』ナカニシヤ出版。
- (17) 加護野忠男(1980) 『経営組織の環境適応』白桃書房。
- (18) 占部都美編著(1979) 『組織のコンティンジェンシー理論』白桃書房、219-256頁。
- (19) 松嶋登(2015) 『現場の情報化』有斐閣
- (20) Williamson, O. E. (1975) *Markets and Hierarchies, Analysis and Antitrust Implications: A Study in the Economics of Internal Organization*, The Free Press. (浅沼萬里・岩崎晃訳『市場と企業組

織』日本評論社、1980年、16-19頁および35-69頁および417-423頁。)

- (21) Simon, H. A. (1997) *Administrative Behavior: A Study of Decision-Making Processes in Administrative Organizations*, 4th edition, The Free Press. (二村敏子・桑田耕太郎・高尾義明・西脇暢子・高柳美香訳『新版 経営行動：経営組織における意思決定過程の研究』ダイヤモンド社、2009年、1-42頁および111-183頁および497-503頁。)
- (22) Ansoff, H. I. (1965) *Corporate Strategy: An Analytic Approach to business policy for growth and Expansion*, McGraw-Hill. (広田寿亮訳『企業戦略論』産業能率大学出版部、1969年。)
- (23) Mintzberg, H. (1994) *The Rise and Fall of Strategic Planning*, New York: Prentice Hall. (中村元一監訳、黒田哲彦・小高照男・崔大竜訳『「戦略計画」創造的破壊の時代』産能大学出版部、1997年。)
- (24) Johnson, G., Langley, A., Melin, L. and Whittington, R. (2007) *Strategy as Practice: Research Directions and Resources*, Cambridge: Cambridge University Press. (高橋正泰監訳、宇田川元一・高井俊次・間嶋崇・歌代豊訳『実践としての戦略：新たなパースペクティブの展開』文眞堂、2012年、3-38頁および283-302頁。)

経営制度

- (1) 藤本隆宏『生産マネジメント入門Ⅰ』日本経済新聞出版社、2001年。
- (2) 藤本隆宏・西口敏宏・伊藤秀史編『サプライヤーシステム』有斐閣、1998年。
- (3) 原拓志「テクノロジーマネジメント」神戸大学経済経営学会『ハンドブック経営学 [改訂版]』ミネルヴァ書房、2016年、第9章。
- (4) 上林憲雄ほか『経験から学ぶ経営学入門』有斐閣、2007年。
- (5) 上林憲雄ほか『経験から学ぶ人的資源管理』有斐閣、2010年。
- (6) Bratton, J. and Gold, J. (2003) *Human Resource Management: Theory and Practice* (3rd edition), Palgrave. (上林憲雄ほか監訳『人的資源管理 —理論と実践—』文眞堂、2009年。)
- (7) 経営史学会編『日本経営史の基礎知識』有斐閣、2004年、第2部、第3部、第4部。
- (8) 菅山真次『「就社」社会の誕生 ホワイトカラーからブルーカラーへ』名古屋大学出版会、2011年、第1章、第2章、第3章。
- (9) 佐々木聡編『日本の企業家群像Ⅱ 革新と社会貢献』丸善、2003年、第1章。
- (10) 和田一夫『ものづくりの寓話 フォードからトヨタへ』名古屋大学出版会、2009年。
- (11) 藤本隆宏・新宅純二郎・青島矢一編『日本のものづくりの底力』東洋経済新報社、2015年、第1部。
- (12) 平野光俊『日本型人事管理—進化型の発生プロセスと機能性—』中央経済社、2006年。
- (13) 奥林康司・上林憲雄・平野光俊『入門人的資源管理【第2版】』中央経済社、2010年。
- (14) 上林憲雄 編著『変貌する日本型経営』中央経済社、2013年。

決定分析

- (1) Kreps, D., A Course in Microeconomic Theory, Princeton University Press, 1990年, Chapter 3, 4, 11, 12
- (2) Osborne, M. J. & Rubinstein, A., A Course in Game Theory, MIT Press, 1994年, Chapter 1~4, 6, 11, 12
- (3) ギボンズ「経済学のためのゲーム理論入門」創文社、1995年、第3章

財 務 会 計

- (1) 桜井久勝『財務会計講義（第18版）』中央経済社、2017年。
- (2) 佐藤信彦・河崎照行・齋藤真哉・柴健次・高須教夫・松本敏史（編著）『スタンダードテキスト財務会計論Ⅰ（第10版）－基本論点編』中央経済社、2017年。
- (3) 佐藤信彦・河崎照行・齋藤真哉・柴健次・高須教夫・松本敏史（編著）『スタンダードテキスト財務会計論Ⅱ（第10版）－応用論点編』中央経済社、2017年。
あるいは、これらと同等の内容を含む財務会計・財務諸表論の教科書

会 計 制 度

- (1) 鈴木一水『税務会計分析－税務計画と税務計算の統合－』森山書店 2013年。
- (2) 古賀智敏『グローバル財務会計』森山書店 2011年。
- (3) 古賀智敏監修，鈴木一水・國部克彦・安井一浩・有限責任あずさ監査法人編著[2011]『国際会計基準と日本の会計実務（三訂補訂版）』同文館出版，第1章-第3章，第5章-第6章，第8章-第13章，第15章，第17章-第21章，第24章-第25章。
- (4) 新日本有限責任監査法人 河野明史・腰原茂弘・田邊朋子編著[2016]『完全比較 国際会計基準と日本基準（第3版）』清文社，第1章，第4章-第5章，第9章-第22章，第25章-第28章，第30章-第31章，第39章。
- (5) 鳥羽至英『財務諸表監査 理論と制度』基礎篇・発展篇 国元書房，2009年。
- (6) Messier, W., S. M. Glover, D. F. Prawitt, *Auditing & Assurance Services A Systematic Approach*, 9th Edition, McGrawHill Education, 2014.

管 理 会 計

- (1) Horngren, C. T., S. M. Datar and M. Rajan, *Cost Accounting: A Managerial Emphasis* 15th Edition, Prentice Hall, 2012
- (2) Anthony, R. N., V. Govindarajan, F. G. H. Hartmann, k. Kraus, and G. Nilsson, *Management Control Systems* First European Edition, McGraw Hill Higher Education, 2014.
- (3) 小林哲夫『現代原価計算論』中央経済社、1993年
- (4) 谷武幸『エッセンシャル管理会計（第3版）』中央経済社、2013年

マ ー ケ テ ィ ン グ

- (1) 高嶋克義 『現代商業学（新版）』有斐閣，2012年
- (2) 高嶋克義 『現代マーケティング論』有斐閣，2008年
- (3) 鈴木安昭・田村正紀 『商業論』有斐閣，1980年，第2章，第5章
- (4) 丸山雅祥 『日本市場の競争構造』創文社，1992年，第2章
- (5) 風呂勉 『マーケティング・チャネル行動論』千倉書房，1968年，第4章
- (6) 高嶋克義 『マーケティング・チャネル組織論』千倉書房，1994年，第1章，第2章
- (7) 高嶋克義・南知恵子 『生産財マーケティング』有斐閣，2006年，第6章
- (8) 田村正紀 『マーケティング行動体系論』千倉書房，1971年，第1章，第2章、第4章
- (9) 池尾恭一他『マーケティング』有斐閣 New Liberal Arts Selection, 2010年，第4章，第6章
- (10) 栗木 契 『リフレクティブ・フロー』白桃書房，2003年，第3章
- (11) 小川 進 『イノベーションの発生論理』千倉書房，2000年，第1章

- (12) 石井淳蔵 『マーケティングの神話』岩波現代文庫, 2004年, 第6章
- (13) 南知恵子 『リレーションシップ・マーケティング』千倉書房, 2005年, 第1章, 第5章
- (14) 黄 リン 『新興市場戦略論』千倉書房, 2003年, 第2章

ファイナンス

Danthine, J., and Donaldson, J. B., Intermediate Financial Theory (2nd ed.), Elsevier, 2005 (祝迫得夫監訳「現代ファイナンス分析資産価格理論」ときわ総合サービス2007), Chapter 1 - 13。

市場経済分析

- (1) 丸山雅祥・成生達彦、『現代のミクロ経済学：情報とゲームの応用ミクロ』、創文社、1997年
- (2) 丸山雅祥、『経営の経済学 第3版』、有斐閣、2017年
- (3) 奥野正寛ほか、『ミクロ経済学演習』、東京大学出版会、2008年
- (4) Varian, H. R., Microeconomic Analysis (3rd ed.), Norton, 1992.

第2群

数学的方法論

- (1) 西村和雄『経済数学早わかり』2・3・4章（日本評論社），1982年。
- (2) 永田良、田中久稔『経済数学』3-9章（培風館），2012年。

統計的方法論

次のいずれかの文献を選択してください。確率、統計について、ほぼ同水準の教科書です。

- (1) DeGroot, M. H. and M. J. Schervish, *Probability and Statistics*, 4th edition, Addison-Wesley, 2012.
ただし、Chapter 10, 12 および次の Section を除く: Section 2.4, 3.10, 4.8, 7.3, 7.4, 8.6, 9.8, 11.4.
- (2) 岩田暁一「経済分析のための統計的方法（第2版）」，東洋経済新報社，1983年

定性的方法論

| | |
|--------|---|
| ◇ テーマ | 「社会研究方法の基礎」 |
| ◇ 必読文献 | ・バーレル／モーガン(1979)『組織理論のパラダイム：機能主義の分析枠組』千倉書房。 |
| ◇ 参考文献 | ・トーマス・クーン『科学革命の構造』（中山茂訳）みすず書房。 |

| | |
|--------|---|
| ◇ テーマ | 「実証主義的パースペクティブ」 |
| ◇ 必読文献 | ・Hage, J. (1972) <i>Techniques and Problems of Theory Construction in Sociology</i> , John Wiley & Sons. (小松陽一・野中郁次郎訳『理論構築の方法』白桃書房、1978年.) 第1-4章。 ・内井 惣七 (1995)『科学哲学入門—科学の方法・科学の目的』世界思想社。第2、3章 |
| ◇ 参考文献 | ・伊勢田哲治 (2007)「科学哲学」飯田隆編『哲学の歴史第11巻 論理・数学・言語【20世紀Ⅱ】』pp. 493-530. |

| | |
|--------|--|
| ◇ テーマ | 「解釈主義的パースペクティブ」 |
| ◇ 必読文献 | ・M. ウェーバー(1998)『社会科学と社会政策にかかわる認識の「客観性」』岩波文庫 ・C. ギャーツ(1987)『文化の解釈学Ⅰ』岩波現代選書，3-56頁 |
| ◇ 参考文献 | ・三苦利幸(2009)「『価値自由』論の系譜：戦後ヴェーバー研究の展開と現代」『社会文化研究所紀要』第63号，pp. 19-42. |

| | |
|--------|---|
| ◇ テーマ | 「構造主義的パースペクティブ」 |
| ◇ 必読文献 | ・橋爪大三郎(1988)『はじめての構造主義』講談社現代新書。 ・渡辺二郎(1994)『構造と解釈』ちくま学芸文庫。第1、2、3、5章。 ・内田樹(2002)『寝ながら学べる構造主義』文春新書。 |
| ◇ 参考文献 | ・M フーコー(1977)『監獄の誕生』新潮社。 ・M フーコー(2000)『言葉と物』新潮社。 ・M フーコー(2006)『知の考古学』河出書房新社。 |

| | |
|--------|--|
| ◇ テーマ | 歴史的方法論 1 「歴史的方法の基礎」 |
| ◇ 必読文献 | ・カルロ・マリア・チポツラ (2001) 『経済史への招待：歴史学と経済学のはざまへ』国文社, 第 1-6 章。 |
| ◇ 参考文献 | ・E. H. カー(1962) 『歴史とは何か』岩波書店 (岩波新書)。 |

| | |
|--------|--|
| ◇ テーマ | 歴史的方法論 2 「経営史学の展開」 |
| ◇ 必読文献 | <ul style="list-style-type: none"> ・N. S. B. Gras, “Business History,” <i>Economic History Review</i>, Vol. 4, No. 4, pp. 385-398. ・アルフレッド D. チャンドラー, Jr. (著), 有賀裕子 (訳) 『組織は戦略に従う』, ダイヤモンド社, 2004 (原著: Alfred D. Chandler, Jr., <i>Strategy and Structure</i>, 1962.), 序, 第 1 章。 ・アルフレッド D. チャンドラー, Jr. (著), 鳥羽欽一郎, 小林袈裟治 (訳) 『経営者の時代: アメリカ産業における近代企業の成立』, 東洋経済新報社, 1979 (原著: Alfred D. Chandler, Jr., <i>Visible Hand: The Managerial Revolution in American Business</i>, Berknap Pr., 1970), 序論。 |
| ◇ 参考文献 | <ul style="list-style-type: none"> ・レズリー・ハンナ, 和田一夫 『見えざる手の反逆: チャンドラー学派批判』, 有斐閣, 2001 年。 ・Philip Scranton and Patrick Friedenson, <i>Reimagining Business History</i>, Johns Hopkins UP, 2013. |

| | |
|--------|---|
| ◇ テーマ | エスノグラフィー |
| ◇ 必読文献 | ・金井壽宏他 (2010) 『組織エスノグラフィー』有斐閣、第 4, 6 章。 |
| ◇ 参考文献 | ・三矢裕 (2002) 「管理会計システムの導入研究の方法論: トライアングレーションとアクションリサーチの有効性」『会計』第 161 巻第 5 号, 96-109 頁。 |

| | |
|--------|---|
| ◇ テーマ | アクションリサーチ |
| ◇ 必読文献 | <ul style="list-style-type: none"> ・Greenwood, D. “Introduction to Action Research, <i>Social Research for Social Change</i>, 2nd ed., SAGE Publications, 2007. の pp. 3-34, 76-88. ・三矢 (2007) 「日次決算導入がもたらす組織行動への影響: 株式会社ドンクにおけるアクションリサーチ」『原価計算研究』第 31 巻第 1 号, 1-13 頁。 |
| ◇ 参考文献 | <ul style="list-style-type: none"> ・Kaplan, R. S. (1998), Innovation Action Research: Creating New Management Theory and Practice, <i>Journal of Management Accounting Research</i>, 10(1) pp. 89-118. ・E.H. シャイン (1999) 『プロセス・コンサルテーション: 援助関係を築くこと』白桃書房。 |

| | |
|--------|---|
| ◇ テーマ | 事例研究方法論1「ケース・スタディの意義と役割」 |
| ◇ 必読文献 | 1. 栗木契 (2012) 『マーケティング・コンセプトを問い直す』有斐閣、第7章。 2. C. M. クリステンセン、M. E. レイナー(2004) 「よい経営理論、悪い経営理論」, 『ダイヤモンド・ハーバード・ビジネス・レビュー』 May。 |
| ◇ 参考文献 | ・R. イン (1995) 『ケース・スタディの方法』千倉書房。 ・沼上幹 (2000) 『行為の経営学』白桃書房。 ・田村正紀 (2006) 『リサーチ・デザイン』白桃書房。 ・栗木契「ケース・スタディの方法」第1~4回、『ビジネス・インサイト』No. 65-68 ・井上達彦(2014) 『ブラックスワンの経営学』日経BP社。 |

| | |
|--------|---|
| ◇ テーマ | 事例研究方法論2「ケース・スタディの実際」 |
| ◇ 必読文献 | 1. 加護野忠男(2014) 「顧客志向を高める3つの戦略」, 『一橋ビジネスレビュー』 SPR (特に11頁左、最初の段落(「本社が神戸市にある」から始まる段落)。 2. 延岡健太郎・栗木契・藤井誠(2014) 「シスメックス」, 『一橋ビジネスレビュー』 SPR。 |
| ◇ 参考文献 | ・G. アリソン・F. ゼリコウ(2016) 『決定の本質・第2版』日経BPクラシックス ・G. Fisher (2012) “Effectuation, Causation, and Bricolage,” <i>Entrepreneurship Theory and Practice</i> September |

| | |
|--------|--|
| ◇ テーマ | 「定性的方法と研究論文」 |
| ◇ 必読文献 | ・Tian, Kelly and Russell W. Belk (2005), “Extended Self and Possessions in the Workplace”, <i>Journal of Consumer Research</i> , 32-2, pp.297-310. |
| ◇ 参考文献 | U. フリック(2011) 『質的研究入門』春秋社、第2, 3, 4章。 ・Russell W. Belk (1988), “Possessions and the Extended Self”, <i>Journal of Consumer Research</i> , 15-2, pp.139-168. ・Russel W. Belk (2013), “Extended Self in a Digital World”, <i>Journal of Consumer Research</i> , 40-3, pp.477-500. |